

生きいき



設立20周年記念式典・アトラクション 笑顔の観客

8頁	事務局からのお知らせ
7頁	・甲斐路 ・会員のひろば
6頁	・発注者からひとこと ・私たちの奮闘記
5頁	・各地区親睦会 ・職群班訪問
4頁	・各種講習会 ・発生状況
3頁	・20周年記念事業 ・20周年記念式典
2頁	・設立20周年記念式典 ・公益社団法人へ移行
1頁	目次

公益社団法人 峡中広域シルバー人材センター

〒400-0115
山梨県甲斐市篠原2644番地3
TEL 055-279-6626
FAX 055-279-6620
<http://www.sjc.ne.jp/kyochu/>

爽やかに、誇らしく、 更に充実した明日へ

設立20周年記念式典

当センターは、平成4年2月14日に設立総会を開催し、県下7番目のセンターとして設立し、同年4月1日より業務を開始しました。バブル崩壊の厳しい経済状況の中で、甲斐市、中央市及び昭和町の適切なご指導とご支援をいただき、また、各事業所をはじめ一般家庭等の深いご理解とご協力によって、年ごとに着実な発展を遂げながら、ここに設立20周年を迎えました。

設立20周年を迎えた(株)峡中広域シルバー人材センターの記念式典が2月26日昭和町アピオで、来賓、発注者の皆様327名、会員450名が出席する中で、盛大に開催されました。



あいさつをする保坂理事長

式典ではまず保坂理事長が「20周年記念を迎えられたことに関係各位の皆様へ御礼を申し上げます。会員と共に喜びたいと思います。センターがここまで発展できたのは、会員の皆さんの地域社会に貢献しようと真剣な努力をした結果です。今後も事業の発展に向けてさらなる努力を続けてまいります。」とあいさつの後、来賓を代表して、昭和町議会の萩原馨議長、山梨県シルバー人材センター連合会の石川洋司会長から「設立20周年おめでとうございます。これからも地域の担い手として頑張ってくださいと思います。」とエールを送っていただきました。

その後、永年、センター事業の



感謝状受賞者の皆様

振興に積極的に協力され、多大な就業機会の提供を賜った発注者の皆様に保坂理事長より感謝状を贈呈し、式典を終了しました。

感謝状贈呈者

(企業)

㈱イトーヨーカ堂甲府昭和店様

㈱日京クリエイト様

㈱三羽様

横河マニユファクチャリング㈱様

㈱昇仙峡カントリークラブ様

(個人)

深沢 愛子 様

窪田 道也 様

新海 泰 様

井尻 寛三 様

乙黒 源宏 様



アトラクション

式典終了後、アトラクションとして、「三遊亭小遊三落語会」が行われ、二ツ目のイケメン落語家、瀧川鯉斗に続いて、三遊亭小遊三師匠の落語に会場は大きな笑いの渦でつつまれた楽しいひと時を過ごしました。

公益社団法人として再スタート 4月1日に公益法人の登記

国の公益法人制度の改革により、当センターは活力ある高齢化社会を支える地域の中核的組織になることが求められました。

従来以上に地域や社会から幅広い理解と協力が期待できる公益社団法人への移行認定申請を平成23年7月14日に行いました。

山梨県公共認定審議会の審議を受け、「認定の基準に適合する」旨の答申を頂き、平成24年3月19

日に県より移行認定書の交付を受け、4月1日に移行登記を完了することになっています。

設立20周年の節目の年に公益社団法人として、新たなスタートをすることとなりますが、地域の皆様の信頼を頂ける活動を、役職員及び会員が一体となって展開していくことをお互いが確認しあいましょう。

街角に潤いある空間を 20周年記念事業

当センターが安定した事業活動を展開できている要因のひとつは、公共関係からの受注が他のセンターと比較して格段に多いことにあります。

設立20周年記念事業として、各地区毎に花壇整備活動を展開していくことを決定し、きれいな花壇が整備されました。

今年度から花壇の維持管理を地域班が中心に行いますが、会員の皆様全員で協力しながら管理して行きたいと思っています。

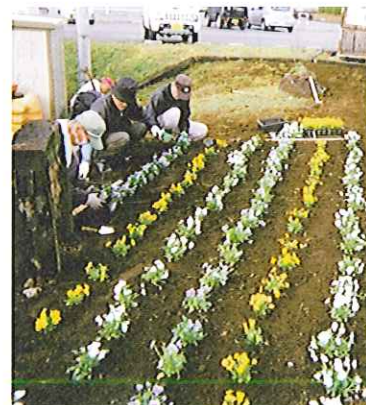
近くをお通りの際は草抜き・水やり等、積極的にご協力をお願いします。



竜王：竜王八田線大花壇



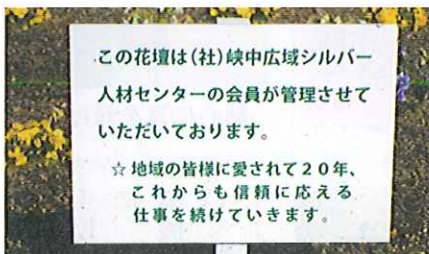
昭和：図書館南側



敷島：志麻の湯駐車場横花壇



玉穂：玉穂ふれあい広場



田富：庁舎前ロータリー



豊富：作興橋隣接緑地帯花壇



双葉：山木踏切南側花壇

安全と講習会

事故発生件数の推移 平成24年2月末日現在

年度	会員数 (人)	就 業 実 人 員 (人)	事故発生件数				
			傷害事故			賠償 事故	合計
			途上	就業中	小計		
20	867	773	3	5	8	12	20
21	920	817	1	4	5	8	13
22	933	825	1	6	7	10	17
23	938	829	1	6	7	5	12

傷害事故発生状況

事故の種別	事 故 の 内 容	件数
転 倒	作業中に車に接触され打撲、転倒	2
は さま れ	グレーチングを閉める際小指圧迫・裂傷	1
蜂 さ され	除草作業中、口元を刺された	1
車 と 接 触	原付で車の後方にぶつかった	1
踏 み 外 し	脚立に登ろうとして踏み外し転んだ	1
滑 る	足を滑らせて膝をつき皿を骨折	1
合 計		7

賠償事故発生状況

事故の種別	事 故 の 内 容	件数
刈 払 機	小石の飛散により車のガラス破損	2
	刈払機移動中、車と接触しキズをつけた	1
車 運 転 中	車で移動中、縁石にあて車にキズをつけた	1
交 通 事 故	車で移動中自転車とぶつかりケガをさせた	1
合 計		5

賠償事故が減少

平成23年度事故発生状況

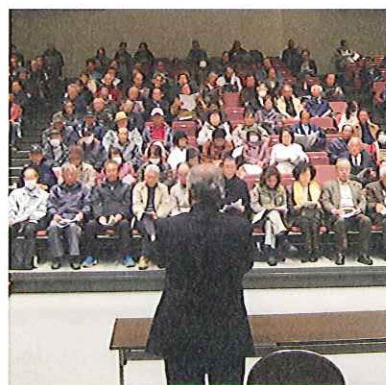
平成23年度の事故件数は12件と昨年に比べ5件減少しています。傷害事故は横ばいですが賠償事故が昨年に比べ半減しています。しかし刈払機による事故が3件発生し、2件は基本作業を怠った為に発生した事故です。作業前に安全確認を行い、事故防止に努めていただきたいと思います。

今年度より、賠償事故を起こした会員が安全委員会に出席し、4件の事故報告を受けており嚴重に注意し、事故原因の究明と再発防止の徹底を図りました。他の傷害事故の原因分析をすると気のゆるみ、あせり、作業に対する確認不足があげられます。会員一人ひとりが安全に対し、もう一度原点に戻り、安全就業に積極的な取り組みをお願いします。

接遇講習会

公共施設就業説明会

甲斐市では、12月20日と21日の2回、敷島総合文化会館で会員302名が参加し、平成24年度の公共施設就業説明会が行われ、同時に接遇講習会を開催しました。



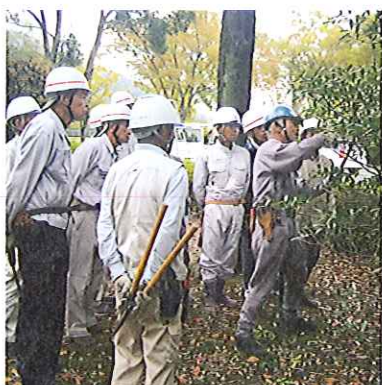
熱心に耳を傾ける甲斐市会員

植木剪定「新人育成」

安全講習会

10月15日、甲斐市敷島総合公園において、剪定方法や安全就業を学ぶ新人育成講習会が10人の参加で行われました。

講師は、甲斐市造園組合会長・美園造園土木武藤洋一社長にお願いし、枝抜きや刈込の方法を習得しました。今年度は緊急雇用創出事業で就業



刈込の講習を受ける新入会員

また中央市では、3月9日と13日に玉穂会場、田富会場の2カ所に分かれ、中央市公共事業就業予定会員77名に接遇講習会を開催しました。出席の会員の皆さんは、講師の林理事の講義に熱心に耳を傾けていました。当センターでは、全国平均をはるかに上回る受注を公共からいただいております。会員が今まで培った技術や技能によって今後も期待を上回る実績をおさめていけるように、また多くの会員に対して、就業機会が得られるように努力していく必要があります。

している新人の会員が主に受講され、脚立や道具の安全な取扱についても熱心に学びました。

親睦会・職群班

3月15日、中央市農村公園で玉穂・田富・豊富・昭和4地区合同G・G大会が80人参加し、開催されました。



双葉地区一泊旅行
11月1日(火)、2日(水)に新潟県瀬波温泉旅行に23人が参加し、親睦を深めました。

交流を深めました 各地区親睦会

公益社団法人移行に伴い、会員互助会は解散されましたが、各地区独自でいろいろな親睦会が開催されました。



竜王地区新年会

1月20日(金)かまなしの湯で28人の参加でお湯に浸かり、楽しい一時をすごした。



玉穂地区忘年会

12月4日(日)湯殿館で25人の会員と田中副理事長も参加していただき、カラオケで盛り上りました。

職群班訪問

敷島地区草刈・除草班

敷島地区には除草班と草刈班があり総勢50人の会員がいます。除草班のリーダー・横山さんと草刈班のリーダー・保坂さんにお話を伺いました。

除草班は手カンナでの草取りや公園の掃除、草刈班は刈払機や芝刈機を使って作業をしているそうです。作業依頼は公的なものから民間までさまざまです。

お二人はコミュニケーションを密にして2つの班の会員と作業内容のマッチングを考慮した会員配

置を行っています。また、朝礼には機械使用時の防護用具の着用をチェックし、猛暑極寒の時期には就業を始める時間の調整をしたり、休憩時には、水分補給等にも気を使い安全な作業を指導しています。そのおかげで大きな事故はないそうです。

草刈の経験の無い会員の方には未経験でも出来る仕事を割り振っています。各人が好きな分野の講習を受けたりなどして、一人でも多くの方が就業に付けるよう努力して欲しいそうです。

「同世代の会員達と同じ仕事に汗を流し交流を深めている姿は、シルバーならではの光景で、やりがいを感じます。」と両リーダーは思いを語っていました。(三富)



響ヶ丘公園団地で作業

私たちの奮闘記

20年に感謝して

竜王地区 古屋 寿弥子

センターが発足して、早や20年、私もセンター発足の平成4年からお世話になり、働かせていただきました。

最初は役場前の花壇の草取りから始まり、広いドラゴンパークの草取りをしました。ある3月の寒い日には芝生広場に綱を張り、ひざまづいて2cm位の草を取ったり、また暑い夏の日には汗を流して働いたなど、今思えば若かったなあ



と感じます。グラウンドゴルフ大会で静岡の皆様方と試合し、歓談し汗を流した。新年会に参加して皆様の美声に聞き惚れて笑ったり、涙を

発注者からひとこと



私とシルバーさんとの絆

甲斐市 深沢 愛子

私とシルバーさんの出会いは、もう10年になります。朝10時から午後2時まで、食事の支度や洗濯物の取り入れ、庭の手入れや除草などをお願いしております。

どなたも誠実にきちんと対応していただき、気持ちの良い生活環境で毎日を過ごしております。

入院生活が続いた時は、病院まで来て洗濯物などの気遣いをしていただき、シルバーの方たちとの

触れ合いにとっても勇気づけられました。長い闘病生活の中、自分に「ガンバレ」と言い聞かせておりましたが、シルバーの方たちのおかげで「一人じゃないんだ」と思えることができました。

この10年間の、シルバーの方たちとの思い出は私を支えるひとつとなっておりま。いつでもアルバムをめくるかのように思い出され、時々胸が詰まることもありま。これからもシルバーの方たちとの出会いを大切にしていきたいと思ひます。

安全と笑顔で

竜王地区 佐藤 修一

会員になって初めての仕事が新店でのカート回収とお客様の案内などです。当初は13人体制でしたが、現在は8人でシフトを組んで

流し過ごしたこと。総会には必ず都合を付けて出席し、最後のビンゴゲームなど楽しく愉快でした。10年表彰もいただき、皆様の思いやりのあるセンターで、働かせていただいたことに感謝します。

就業しています。

オープン当初は、来店客の多さにびっくりしました。通路もお店も人人、カート運びには危険が無いように、特に気を使いました。

お客様用カート置場は一階から4階まで50カ所あります。普通のショッピングカートの他に子供達に人気のキャラクターカート、ベビーカート、車イス等を利用しやすいように配置しています。

来店客には「いらっしゃいませ」お帰りのお客様には「ありがとうございました、またお越し下さいませ」の挨拶をしています。これが自然と出来るのは、感謝の表れだと思っています。

もうすぐ3年になりますが、これからの店舗の一員の自覚を持って頑張りたいと思っています。



会員のひろば

着物のリフォーム

竜王地区 井上 信子

古い着物から洋服を作り、ミシンで3日位で出来ます。おくみをはぐのが難しいです。ズボンなどで活動しやすいです。(モデル本人)



杵作り

昭和地区 望月 正男

けやきの枝を電動カンナで荒削りし、半年以上日陰で乾燥させます。その後ひびをみながら仕上げます。昨年のコスモス花見会で使っていました。(右端本人)



私の健康法

楽しく

無理なく鍛錬



玉穂地区 福澤 路子

振返る事、人生60数年今のところ病もなく元気な毎日を過ごしております。

人生の半生35年間、空手道を精進しておりましたが、始めたのが30歳の時です。夫が玉穂地区で空手スポーツ少年団の指導を始めたのを機に、我が子3歳の双子の男の子を連れて、ものめずらしさに体育館に通い、子供達より私の方が夢中になり、子供達とトレーニング。

その内に練習に物足りず数々の大会に参加、全団中心の「中日杯名古屋大会」で優勝です。度重ねての大会参加で、他の選手仲間間で、「また、あのおばさんが参加している」との一言、大変ショックでした。その後は現役をやめ、道場の子供達の指導役に専念。今日にいたっております。

甲斐路

ふるさとの地名(四)

年号の昭和に

ちなべて命名

昭和町は年号の「昭和」にちなんで新しい町で、合併以前は常永村と西条村、押越村の3カ村があった。

常永村は築地新居、飯喰、築地新田、上河東、河西の5カ村が明治8年に合併してできた。

このうち飯喰は、「信玄堤の杭」を打ったからだという。築地とはこの場合、釜無川の堤防のことだろう。新居は新しく開拓された村の事だ。河西は甲府盆地を南東に斜めに流れてい

やはり健康維持にはスポーツを長い間続ける事に意味があり、まして武道は練習は元より、鍛錬の維持であり、これで良いと言う頂点は無いのではないかと。一番の健康法は、楽しく無理なく、手足、全身を思い切り伸ばす事。

現在週3日、豊富地区で子供達の指導のかたわら柔軟体操。そのお陰で体力のある元気な体でいられる事に感謝する日々です。人生



は挑戦の心、昨年はヘルパー2級を取得。地域の皆様のお役に立てるよう願っております。

た釜無川が、信玄堤によって南にまっすぐに流れるようになった。よって、河西は釜無川の西にあったことになる。

西条村は明治7年に清水新居、西条、西条新田の3カ村が合併して生れた。西条は中世、現甲府南国母に対し河流の西に位置していた。

押越村は河東中島、紙漉河原、押越の3カ村が明治7年に合併。紙漉河原は豊かな湧水を使って紙漉業が起った所。

これらの地名には釜無川の氾濫による、住民の苦しみのもとが生々しく伝えられている。テレビ山梨ふるさと地名参考照

事務局からのお知らせ

今後の予定とお知らせ

○平成24年度定時総会

日時 5月25日(金) 午後1時30分

場所 昭和町総合会館

やむを得ず欠席する場合は、議決権行使書または委任状の提出をお願いします。

○普及啓発グラウンド・ゴルフ大会

日時 5月30日(水) 午前8時30分受付開始

場所 釜無川スポーツ公園

一般の方も参加できます。

詳細については、別途通知いたします。

事務費率の改正 4月の配分金から実施

平成22年度の地区会議で説明を行い、会員の皆様のご理解を得た中で、事務費規程改正案が理事会で承認されました。

平成23年度の通常総会で会員の皆様に周知致しましたが、センターの安定的な財源確保を図るため、平成24年4月から、配分金単価の一律減額により、事務費率が5%から7%に改正されます。

あらためて会員の皆様のご協力をお願いします。

公益社団法人Q&A

Q 今までの「社団法人」と何が違うのか

☆公益目的と認められる事業の比率が50%以上であること。

☆収支相償の財政運営がされていること。

☆法人の関係者(会員等)に特別の利益を与えないこと。

Q 会員としては

何をすればいいのかわ

☆公益社団法人として変化していくセンターの運営を理解し、積極的に活動に参画し協力しましょう。

☆総会は、公益社団法人を構成する全社員(会員は法律上「社員」と呼ばれる。)の最高意思決定機関ですので必ず出席しましょう。

☆活動補助金、助成金の交付が出来るため、親睦会や旅行などへの参加は全額自己負担となることを理解して、地域の活動には積極的に参加しましょう。

以上のように、国と関係市町から補助金を受けて事業活動している団体であることを認識して、今後も健康に留意して、発注者の皆様から信頼をいただける取組を行い、センターの更なる発展のためお互い頑張ってください。

交通安全旗寄贈

コスモス花見会収益金

センター独自のおまつり「コスモス花見会」も、第3回を数えました。

今年度は昨年10月8日に初めての試みとして、J A 梨北の農協祭りと同時に開催され大盛況でした。当日販売された、おにぎり、豚汁等の収益金で、昨年に引き続き交通安全旗を100本購入し、甲斐市、中央市、昭和町の教育委員会を通し、管内の小学校へ寄贈し、関係者から大変喜ばれました。



中央市比志教育長に寄贈する林理事

編集後記

昨年3月11日の東日本大震災、巨大津波、そして福島第一原発による放射能汚染は、甚大な被害をもたらした。

再び、春が訪れ草木は萌芽し、花々は開き疲れ果てた人々の心を和ませてくれると思うが、未曾有の大震災に対する復興までの道のりはまだまだ遠い。

当センターの20周年記念式典は大勢の来賓と会員参加のもと、この20年を振り返り新たな出発点と位置付けた。4月から公益社団法人としての船出となるが、理事は職務上の義務が、地域班は各種事業を通して、地域の発展に貢献することを確認しなければならない。会員の皆様が、事故ゼロを目指し、報告・連絡・相談を、怠らず信頼される仕事を行うことが、新たな事業展開と今後の発展への第一歩となるだろう。(内藤)

編集委員

林 兵仁郎・畠中 久男
花木 正・内藤 通憲
三富 延江
丸山 次郎・小田切まり子